MA0911-B

CASIO® P

5082＊JA

取扱説明書

5082

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

本機の特長

●アナログ＆デジタル時計

アナログとデジタル時計で時刻を表します。
アナログ（針）はデジタル時計の時刻を自動的に指します。

●ストップウオッチ

1/1000 秒単位で 99 時間 59 分 59 秒 999（100 時間計）まで計測できます。

●タイマー

1 分単位で 24 時間までセットでき、1 秒単位で減算計測を行ないます。

●ワールドタイム

世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻および協定世界時（UTC）の時刻を表示させることができます。

●アラーム・時報

アラームは 5 本（通常アラーム 4 本／スヌーズアラーム 1 本）セットでき、任意の時刻にアラームを鳴らすことができます。また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすことができます。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠**危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠**警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。

⊘記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

⚠ 注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

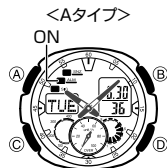
時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

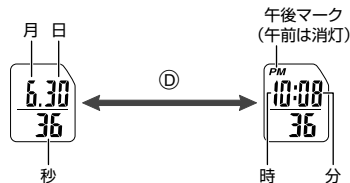
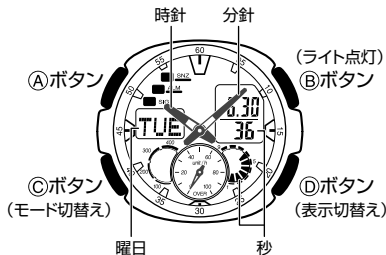
目次

液晶表示について

本書はＡタイプの液晶表示で説明しております。
Ｂタイプ（反転液晶）をお使いの場合は、Ａタイプで各インジケーター（マーク）が ON のときに点灯するところが白くなると置き換えてご覧ください。

操作のしくみと表示の見方（本書の表示例では、アナログ部（針）を省略する場合があります。）

Ⓒ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード

★表示切替えについて
Ⓓ ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

★曜日の見方

SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金　SAT：土

Ⓒ

ストップウオッチモード

P-10

Ⓒ

タイマーモード

P-16

Ⓒ

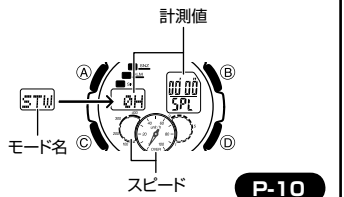
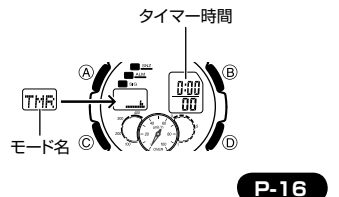
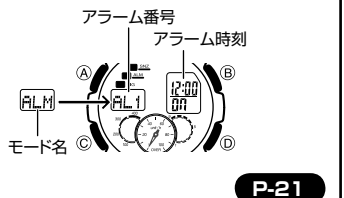
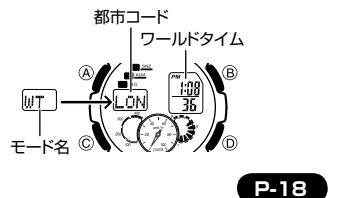
アラームモード

P-21

Ⓒ

ワールドタイムモード

P-18

Ⓒ

ライト点灯について

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑボタンを押すとライトが点灯し、暗いところでも表示を確認することができます。

■ ボタンを押して点灯させる

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑ ボタンを押すとライトが点灯します。

※ 点灯時間は約 1.5 秒間と約 3 秒間のいずれかを選ぶことができます（以下参照）。

※ 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。

※ ライト点灯中に操作確認音の鳴るボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。

■ ライト点灯時間の切替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約 3 秒間押し続けます

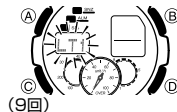
➡「都市コード」が点滅します。

2. ライト点灯時間切替えにする

Ⓒ ボタンを 9 回押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が移動します。

* 点滅箇所の移動については 25 ページ参照。

(9回)

3. 点灯時間を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに約 1.5 秒間と約 3 秒間が切り替わります。

※ LT1 ＝約 1.5 秒間

※ LT3 ＝約 3 秒間

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態から時刻モードに戻ります。

ストップウオッチの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

本機のストップウオッチは、「ラップタイム」、「スプリットタイム」を計測し、速度を表示します。

- 1/1000 秒単位で 99 時間 59 分 59 秒 999（100 時間計）まで計測できます。
  - ※ 計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。
  - ※ 速度を計算するため、あらかじめ距離を設定してからお使いください。距離が 0.0 のときは常に速度 0 を表示します。

*1 ラップタイムとは、任意の区間（例えば、周回競技の 1 周）に要する時間を指します。

*2 スプリットタイムとは、スタートから任意の地点（例えば、周回競技の 2 周目終了地点）までに要する時間を指します。

●表示切替え

ラップタイム計測かスプリットタイム計測かによって、表示される内容と操作が異なります。

<ラップタイム計測>　　<スプリットタイム計測>

なお、計測開始後に切り替えることはできません。計測を始める前に切り替えてください。切り替えるには、リセット状態のとき Ⓐ ボタンを押して「LAP」か「SPL」を選んでください。

ストップウオッチモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを押します

➠下記のように、表示が切り替わります。

■距離設定のしかた

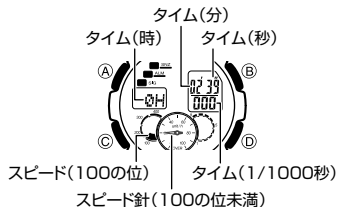
ストップウオッチモード（計測リセット状態）のとき

Ⓐ ボタンを約 3 秒間押し続けます

➠下記のように表示が切り替わります。

- Ⓒ ボタンを押すと設定できる桁が選べます。
- Ⓓ ボタンを押すと数字が進み、Ⓑ ボタンを押すと戻ります。
- 設定できる範囲は 0.1 から 99.9 までです。なお距離の単位は特定しません。
- 設定が済んだら Ⓐ ボタンを押してストップウオッチモード（計測リセット状態）に戻ります。

■スピード表示のみかた

ストップウオッチモードのとき、タイムを計測するたびに設定済みの距離を計測タイムで割った値がスピードとして表示されます。

- 100 の位は左下の液晶に表示されます。
  100 の位未満はスピード針で表示されます。
  表示されるのは偶数です。
  （例えばスピードが 120 のとき、左下の液晶で 100 を示し、スピード針で 20 を指します。）
- スピードは 0 から 498 まで表示できます。
  (498 のとき、左下の液晶で 400 を示し、スピード針で 98 を指します。)
- 498 を超えると、スピード針で OVER を指します。

※ 距離 0.0 を設定すると、スピードはいつも 0 を指します。このとき､スピード針は一周して 0 位置に戻ります。

ご注意

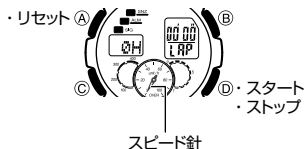
スピード針が動いているときはボタンを操作できません。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

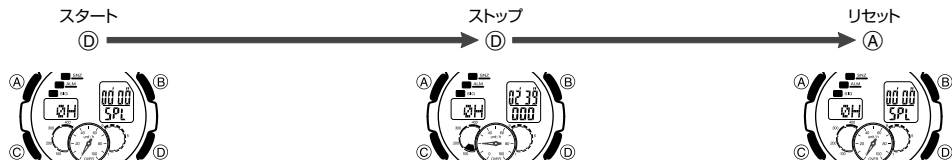
➡Ⓓ ボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。

※ 同じスピードのときやスピードが 0 のときは、スピード針が一周します。

ご注意

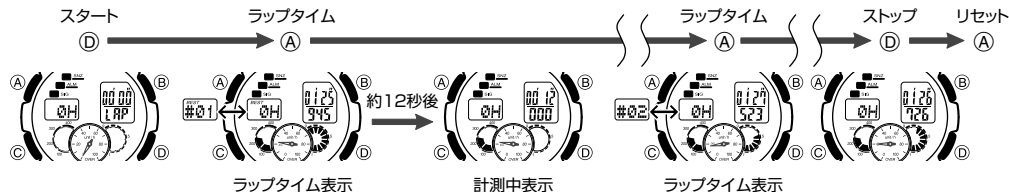
ボタンはスピード針が止まってから操作してください。

★計測終了後 Ⓐ ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります（リセット）。

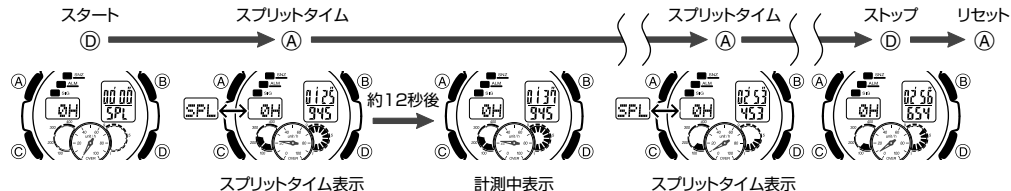
●通常計測

ラップタイム計測でもスプリットタイム計測でも通常のタイム計測ができます。

※ 計測を止めてからリセットせずに Ⓓ ボタンを押すと再スタートでき、引き続き計測が再開されます。
このとき表示されるタイムは、スタートしてから順に計測したタイムの積算値です。

●ラップタイム計測

〈ラップタイム計測表示〉

- 計測を始める前に「LAP」と表示されていることをご確認ください。
  ※「SPL」と表示されている場合は、Ⓐ ボタンを押し、「LAP」に切り替えてお使いください。
- Ⓓ ボタンを押すと計測を開始します。
- 計測中に Ⓐ ボタンを押すとラップタイムが表示されます。内部では次のラップタイムの計測が始まっています。
- 約 12 秒後、計測中の表示に自動的に戻ります。ラップタイム表示中に再び Ⓐ ボタンを押すと、最新のラップタイムが表示されます。
- Ⓓ ボタンを押すとラップタイム計測はストップします。ストップ中に Ⓐ ボタンを押すとリセットできます。
- 周回数はタイム (時) の位置に交互に表示されます。
  #01 から #99 まで順に表示されます。
  #99 の次は #00 が表示され、その後 #01 に戻って計測を繰り返します。
- 周回速度が最も速いラップのときタイム (時) の上部に「BEST」と表示されます。

●スプリットタイム計測

〈スプリットタイム計測表示〉

- 計測を始める前に「SPL」と表示されていることをご確認ください。
  ※「LAP」と表示されている場合は、Ⓐ ボタンを押し、「SPL」に切り替えてお使いください。
- Ⓓ ボタンを押すと計測を開始します。
- 計測中に Ⓐ ボタンを押すとスプリットタイムが表示されます。内部では計測が続いています。
- スプリットタイム表示中に再び Ⓐ ボタンを押すと計測表示に戻ります。あるいは約 12 秒後に計測中の表示に自動的に戻ります。
- Ⓓ ボタンを押すとスプリットタイム計測はストップします。ストップ中に Ⓐ ボタンを押すとリセットできます。

タイマーの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマー時間は分単位で 24 時間までセットすることができ、1 秒単位で減算計測を行ないます。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の 2 種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

* タイマー方法の選び方については右記参照。

●リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー(自動繰り返し計測)

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。

■ 電子音の報音について

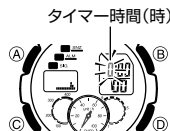
セットした時間を経過すると 10 秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

※ 電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ タイマーのセット

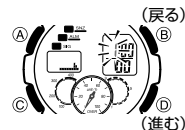
1. セット状態にする

タイマーモードのとき、Ⓐ ボタンを約 3 秒間押し続けます

➡タイマー時間の「時」が点滅します。

2. タイマー時間をセットする

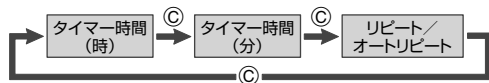
Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに 1 ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※ タイマー時間は 1 分（0:01）～ 24 時間（0:00）までセットできます。1 時間は 1:00 と表示されます。

3. セット項目を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※ 点滅箇所がセットできます。

4. タイマー方法を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにリピートタイマー“ ”とオートリピートタイマー“ ”が切り替わります。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ セット状態で 2 〜 3 分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

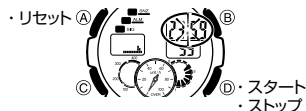
■タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

※ 計測は 1 秒単位です。

※ 計測中は、時と分の間のコロン“：”が点滅します。

※ 右下のグラフィックは秒を刻みますが、時刻モードの秒を表しています。
左下のグラフィックも秒を刻むことがありますが、内部でストップウオッチが動いていることを意味します。

★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。

★ Ⓓ ボタンを押すと一時的に計測を止めることができます。再び Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を再開します。

ワールドタイムの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻および協定世界時（UTC）の時刻を簡単に知ることができます。

※ ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

※ 時刻モードであらかじめホーム都市と時刻をセットしておくと、都市コード一覧の時差にしたがい他の都市の時刻が自動的に調整されます。

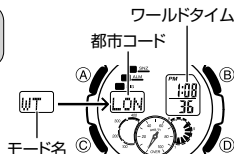
※ ワールドタイムの「秒」は時刻モードの「秒」に連動しています。

※ 時刻モードで 24 時間制にしているときは、ワールドタイムも 24 時間制で表示されます。

■ 都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに「都市コード」が進み、その都市の時刻を表示します。

※ 押し続けると早送りします。

■ 日付を確認する

ワールドタイムモードのとき、Ⓐ ボタンを押すと日付を表示し、1 秒後に時刻表示に戻ります。

■ サマータイム（DST）について

サマータイムとは DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なり、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムの設定

1. **ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押してサマータイムを設定したい都市コードを選びます。**

2. **Ⓐ ボタンを約 3 秒間押し続けます**

DST ONマーク

1時間進む

➡DST ON マークが点灯して、サマータイム設定 * になります。

* サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より 1 時間進みます。

※ DST ON マークが点灯しているときに、Ⓐ ボタンを約 3 秒間押し続けると通常の時刻に戻ります。Ⓐ ボタンを押した直後に DST ON マークが消えて再び現れますが、必ず約 3 秒間押し続けてください。

※ 各都市ごとにサマータイムの設定ができます。

※「UTC」表示のときは、サマータイム設定はできません。

■ ワールドタイム都市とホームタイム都市の入替え

ワールドタイムモードのとき、Ⓐ ボタンと Ⓑ ボタンを同時に押すとワールドタイム都市とホームタイム都市が入れ替わります。入れ替えることにより事前に選択していたワールドタイム都市をホームタイム都市として利用できます。また、事前に選択していたホームタイム都市はワールドタイムモードで確認できるようになります。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名
PPG	－11	パゴパゴ
HNL	－10	ホノルル
ANC	－9	アンカレジ
YVR	－8	バンクーバー
LAX		ロサンゼルス
YEA	－7	エドモントン
DEN		デンバー
MEX	－6	メキシコシティ
CHI		シカゴ
MIA	－5	マイアミ
YTO		トロント
NYC		ニューヨーク
SCL	－4	サンティアゴ
YHZ		ハリファックス
YYT	－3.5	セントジョンズ
RIO	－3	リオデジャネイロ
RAI	－1	プライア
UTC	0	＜協定世界時＞
LIS		リスボン
LON		ロンドン
MAD	＋1	マドリード
PAR		パリ
ROM		ローマ
BER		ベルリン
STO		ストックホルム

コード	時差	都市名
ATH	＋2	アテネ
CAI		カイロ
JRS		エルサレム
MOW	＋3	モスクワ
JED		ジェッダ
THR	＋3.5	テヘラン
DXB	＋4	ドバイ
KBL	＋4.5	カブール
KHI	＋5	カラチ
DEL	＋5.5	デリー
DAC	＋6	ダッカ
RGN	＋6.5	ヤンゴン
BKK	＋7	バンコク
SIN	＋8	シンガポール
HKG		香港
BJS		北京
TPE		台北
SEL	＋9	ソウル
TYO		東京
ADL	＋9.5	アデレード
GUM	＋10	グアム
SYD		シドニー
NOU	＋11	ヌーメア
WLG	＋12	ウェリントン

※ この表は 2008 年 12 月現在作成のものです。
※ この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。
※ 各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

アラーム・時報の使い方

6ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

■アラームについて

●通常アラーム（AL1 ～ AL4）

設定した時刻になると10秒間の電子音が鳴ります。

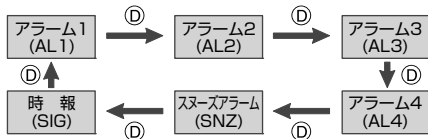
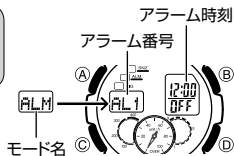
●スヌーズアラーム（SNZ）

設定した時刻になると10秒間の電子音が鳴り、5分おきに合計7回報音を繰り返します。アラーム音を途中で止めても7回の繰り返しが終わるまでは再び鳴り出します。

■アラーム時刻のセット

1. **アラームを選ぶ**

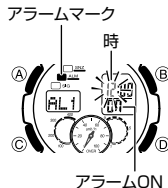
アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。

2. **セット状態にする**

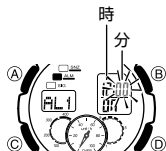
Ⓐ ボタンを約3秒間押し続けます

➡「時」が点滅します。

※一時的に「OFF」と表示されることがありますが、必ず約3秒間押し続けてください。

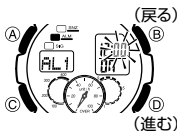
※アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

4. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに1ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順 ***3.*** 〜 ***4.*** の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき午前／午後（PM）、または24時間制にご注意ください。

※ 時刻モードを24時間制にしているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ セット状態で2〜3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

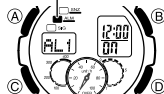
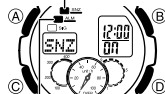
■アラームの ON ／ OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに、アラームの ON ／ OFF が切り替わります。

※ アラームが ON に設定されるとアラームマークが点灯します。スヌーズアラームが ON に設定されるとアラームマークとスヌーズマークの両方が点灯します。

<アラーム1表示>

<スヌーズアラーム表示>

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※ スヌーズアラームのときは、7 回の繰り返しが終わるまで約 5 分後に再び鳴り出します（繰り返しが済んでいないときはスヌーズマークが点滅します）。

※ スヌーズアラームの繰り返しが済んでいないときに以下の操作を行なうと、スヌーズアラーム機能が中断されます。

● スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき。

● スヌーズアラームをセット状態にしたとき。

● 時刻モードでセット状態にしたとき。

● ワールドタイムモードでホームタイムの DST 設定を変更したとき。

● ワールドタイムモードでホームタイム都市を変更したとき。

■ 時報について

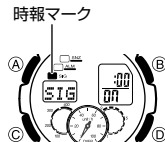
毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■ 時報の ON ／ OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、時報表示（SIG）を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、時報の ON ／ OFF が切り替わります。

※ 時報が ON に設定されると時報マークが点灯します。

時計・カレンダーの合わせ方 以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

※ アナログ部（針）は自動的にデジタルの時刻を指す構造になっています。デジタルの時刻と合わないときは、基準位置を調整してください。

■ デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方（ホームタイム都市の設定）

1. セット状態にする

時刻モードのとき、Ⓐ ボタンを約 3 秒間押し続けます

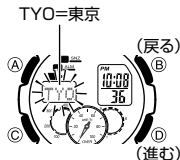
➡「ホームタイム都市」が点滅します。

2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに「都市コード」が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

＊20 ページ「都市コード一覧」参照。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

3. サマータイム（DST）の ON ／ OFF を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに ON ／ OFF が切り替わります。

※ OFF ＝サマータイム OFF（通常時間）
On ＝サマータイム ON（夏時間）

＊サマータイム（DST）については 19 ページ参照。

4. 12/24 時間表示を切り替える

Ⓓ ボタンを押すごとに 12 時間制表示「12H」と 24 時間制表示「24H」とが切り替わります。

5. 秒合わせ…30 秒以内の遅れ／進みの修正

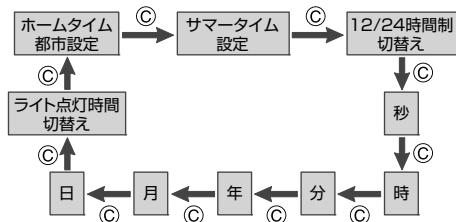
時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します

➡「00 秒」からスタートします。

※ 秒が 30 ～ 59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります（秒が 00 ～ 29 のときは変わりません）。

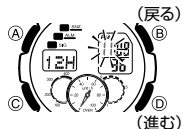
6. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **Ⓒ ボタンを押します**

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。

* ライト点灯時間の切り替えについては 8 ページ参照。

b. Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに 1 ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順 a. ～ b. の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（PM）、または 24 時間制にご注意ください。

※「年」は 2000 年～ 2099 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると､自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態から時刻モードに戻ります。

アナログ部（針）の基準位置の合わせ方

アナログ部（針）は自動的にデジタル部の時刻を指すように設計されています。デジタル部の時刻と合わないときは針の基準位置がずれていますので調整してください。
スピード針の基準位置もここの操作で調整してください。

※ 針が止まってからボタン操作を始めてください。

準備：時刻モードで、以下の操作を行なってください。

1. セット状態にする

Ⓓ ボタンを約 3 秒間押し続けます

➡セット状態になると右上の液晶で“Sub”が点滅し、スピード針が 50unit/h（12 時位置）を指します。

2. スピード針の基準位置を合わせる

Ⓓ ボタンを押します

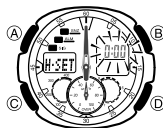
➡Ⓓ ボタンを押すごとにスピード針が時計回りに一目盛ずつ進みますので、50unit/h（12 時位置）に合わせてください（スピード針は逆向きには回りません）。

3. 時分針の基準位置を合わせる

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すと右上の液晶で“0:00”が点滅し、時針と分針が 12 時位置に移動します。12 時位置に揃っていないときは Ⓓ ボタンとⒷ ボタンを押して合わせてください。

※ ボタン操作により分針が動きます。時針は分針に連動して動きます。

※ 時計回りに回して針合わせを終わらせると、より正しく合わせることができます。

＜針の自動早送り＞

- Ⓓ ボタンを押し続けると早く進み（時計回り）、手を離しても進み続けます。
- Ⓑ ボタンを押し続けると早く戻り（反時計回り）、手を離しても戻り続けます。
- 自動早送りは時針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。
- 針の早送り中にアラームなどが鳴り出すと針が停止します。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡時分針はデジタル部の時刻を指す位置に移動します。
スピード針は 0 unit/h を指す位置に移動します。

※ セット状態で 2 ～ 3 分間何も操作しないと、自動的にセット状態から時刻モードに戻ります。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精度：平均月差± 30 秒以内
基本機能：アナログ部
　時・分（20 秒運針）2 針
デジタル部
　時・分・秒、午前／午後 (PM) ／
　24 時間制表示、日・曜日
　フルオートカレンダー
　（2000 ～ 2099 年）
ワールドタイム機能：世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻、
協定世界時（UTC）の時刻を表示、
サマータイム設定機能、ホームタイム都市
設定機能
タイマー機能：セット単位＝ 1 分
計測単位＝ 1 秒
計測範囲＝ 24 時間
リピートタイマー／オートリピートタイ
マー切替え
ストップウオッチ機能：計測単位＝ 1/1000 秒
計測範囲＝ 99 時間 59 分 59 秒 999
（100 時間計）
計測機能＝通常計測、積算計測、
スプリット計測、ラップ計測
スピード表示＝ 0 ～ 498 unit/h

アラーム機能：時刻アラーム
　セット単位＝時・分
　電子音＝ 10 秒間
　通常アラーム＝ 4 本
　スヌーズアラーム＝ 1 本
時報
　毎正時に電子音で報知
その他：自動復帰機能、サマータイム設定機能、
12/24 時間制表示切替え、LED ライト、
ライト点灯時間切替え
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、
CMOS-LSI
使用電池：CR1220　1 個（電池別途販売）
電池寿命：約 2 年
（電子音 10 秒間／日、ライト 1.5 秒間／日
使用した場合）
※ライトを頻繁に使用すると、電池の持
続時間が短くなります。

ご使用上のご注意

■ 防水性

● 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。

● 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水試験を行ないますので、必ずお買い上げの販売店あるいは最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。

● 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■ バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があり、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にバンド交換（有償）をお申し付けください。

■ 温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

● ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

● アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■ 静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
● 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂製品について

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
● 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
● バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
● 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
● 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■ 天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
  ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

- ケース･バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります｡ケース･バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様､日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

〈さび（錆)〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  ※ 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます（防水検査は別途有償となります）。

最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、カシオテクノ・サービスステーションにおいても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションまたはカシオテクノ修理相談窓口へお問い合わせください。